

R2がん検診受診者数について

- ・令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、最初の緊急事態宣言が発出されるなど、外出自粛が求められた時期であり、がん検診についても集団検診の中止や受診控えなど、その影響が懸念されていた。
- ・以下の表1は、過去3年の受診者数の推移であるが、令和2年度の受診者数は各検診とも前年度と比較して約10～20ポイントの減少が見られた。
- ・なかでも胃がん（20.9ポイント減）、乳がん（21.8ポイント減）の検診者数は20ポイント以上の減少であった。

〈表1〉 各がん検診の受診者数の推移

		平成30(2018)年度	対前年 増減	令和元(2019)年度	対前年 増減	令和2(2020)年度	対前年 増減
胃がん	男	38,139	-2.6%	37,445	-1.8%	29,835	-20.3%
	女	45,103	-3.6%	43,455	-3.7%	34,173	-21.4%
	計	83,242	-3.1%	80,900	-2.8%	64,008	-20.9%
大腸がん	男	68,321	-0.6%	69,085	1.1%	57,364	-17.0%
	女	103,247	0.0%	103,331	0.1%	84,444	-18.3%
	計	171,568	-0.2%	172,416	0.5%	141,808	-17.8%
肺がん	男	69,232	0.3%	70,284	1.5%	60,843	-13.4%
	女	102,071	0.7%	102,728	0.6%	86,304	-16.0%
	計	171,303	0.5%	173,012	1.0%	147,147	-14.9%
乳がん(全方式)		89,476	2.5%	88,159	-1.5%	68,935	-21.8%
子宮頸がん		91,001	3.3%	83,526	-8.2%	73,739	-11.7%

※乳がん以外は指針方式

〈図1〉 各がん検診の受診者数の推移

